

	1年次(22年度)	各班の研究成果	課題や改善点	2年次(23年度案)
理論研究班	<ul style="list-style-type: none"> 研究主題のとらえ方の分析(基礎学力のとらえ方も含む) 研究の仮説の分析(具体策検討) 研究の視点の検討 研究のまとめなど 	<p>【授業を通して】</p> <ul style="list-style-type: none"> 読み取りの方法としてサイドラインの活用は効果的だった。 説明文の進め方がよく分かった。(指導計画、授業の流れ) <p>【班活動を通して】</p> <ul style="list-style-type: none"> 視点が変わらなかったので変容を見ることが出来た。次への課題として解決していった。 	<p>【授業を通して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ラインの引き方(発達段階) 共通理解 →他教科への繋がり ～読みのがどうついたのか～ 評価への方法?(調査) 表現活動 複合単元 →課題を決める事が難しい子 調べ学習 個人差有り <p>【班活動を通して】</p> <ul style="list-style-type: none"> (表現力) →書く →簡条書き, メモの取り方がよくない 話す・聞く 高める工夫とは? ☆ 先進校の参観, 取り組み紹介 	<ul style="list-style-type: none"> 研究主題のとらえ方の分析(基礎学力のとらえ方も含む) 研究の仮説の分析(具体策検討) 研究の視点の検討 研究のまとめなど
実践研究班	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導案作成の研究(学習指導過程も含む) 研究授業の記録とまとめ(授業研究の分析の仕方) 学習のしつけやノートの活用 学習過程での評価の方法など 	<p>【授業を通して】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習のしつけ・進め方が大分定着してきた。 学習計画を提示することで、子どもたち自身が学習の流れを見通して取り組むことができるようになった。 関連図書や映像の効果的活用によってイメージを膨らますことができた。 学年間の協力態勢が整ってきた。 <p>【班活動を通して】</p> <ul style="list-style-type: none"> 付箋を使って意見・感想を一覧にし授業研究に活かした。 授業の様子を写真に撮り、LANで観ながら授業研究ができた。(パソコンの活用) 	<p>【授業を通して】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個に応じたワークシートの作成が必要。 個に応じた指導法の工夫・改善 表現力を伸ばすための学習形態の工夫 <p>【班活動を通して】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習過程での評価の方法についての共通理解がもう一步。 	<ul style="list-style-type: none"> 領域を絞る。 指導法改善(T・T)や学年合同学習等の検討 領域毎の系統一覧表の作成 共通実践事項の検討(初めの5分の取り組み)
環境資料班	<ul style="list-style-type: none"> 学習環境整備の企画・運営(国語科コーナー・作文スケッチなど) 実態調査の企画・実施・分析 学習資料の整備(教材教具の開発) 家庭学習の手引きの見直しと活用 各学年に応じた発表話型の見直し 	<p>【授業を通して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ICT機器を活用する場面がどの授業にもあり、子どもの理解の一助となった。 <p>【班活動を通して】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの発達段階に応じた発表話型表を作成し、全児童に配布した。 	<p>【授業を通して】</p> <ul style="list-style-type: none"> 発表話型の定着を図る。 自分の思いを伝えることのトレーニング不足。思いを伝える機会が少ない。 「話すこと」を中心に進めていくことも一つの案 	<ul style="list-style-type: none"> 学習環境整備の企画・運営(作文スケッチなど) テーマと関連した掲示板の工夫 実態調査の企画・実施・分析 学習資料の整備(教材教具の開発) 学習の手引きの活用 発表話型の活用 他校の研究公開への積極的な参加 →情報収集→資料提供 発表の場を設け『話すこと』の力をつける

【研究授業反省】

低学年【1年生】	中学年【3年生】	高学年【6年生】
<ul style="list-style-type: none"> 発表話型を一生懸命言っている姿が素晴らしい。どの学年においても「書く」と「発表」を意識付けられるのでは?《発表話型の活用》 「声のものさし」も大切。 サイドラインの引き方の統一。 →→→→→→→ 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートは段落をまとめ分かりやすかった。 →→ (自信のない子どもへの対応→下位目標) →→→→→ 子どもたちの自主的な調べ学習ができていた。 サイドラインの引き方の例の提示が良かった。 →→→ (赤・青のペン, 定規の準備) 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの共通の疑問を中心に作成。 学習形態の工夫。話し合いになかなか参加できない子どもへの対応。 学習環境が整っている。(写真・学習計画・関連 本等) 要約・要点は鉛筆の直線。友達の考えは赤。全員は直線で統一。

【来年度に向けて国語科の研修内容の希望】

- 個に応じた指導法(ワークシート・形態など)の工夫
- 領域をしばった研修
- 発表話型のカードの裏か、学級掲示用にサイドラインの引き方を配布する
- 伝える力
- 物語文等 他の教材の読み方
- 初めの5分(3分)～速読・辞書引き・漢字テスト・短文作り等の取り組み《国語力をつけるために》
- 言葉での表現, 発声